



2009.March



今号の内容

前号 卒業・修了生
からの言葉

学園を築立つ

子供達のいる現場から

こんにちは

附属です

国際交流

「鳴門教育大学
大学院を修了して」
中華人民共和国 鄭州からの便り

ALBUM

あんな場面！こんな場面！
チャットモンチーも
写っちゃってる！ **ほか**

学園だより

G A K U E N D A Y O R I

表紙デザイン

芸術系（美術）教育コース 准教授 内藤 隆
(芸術・健康系教育部)

表紙題字

初代学長 前田 嘉明

◆◆◆ 学園だより No.59 ◆◆◆

CONTENTS

2009.3

国際教育協力のもたらすもの	村田 博 (理事)	2
退職にあたって	伊東 正貴(人間形成), 太田垣正義(英語), 榎 博(教員就職支援チーフアドバイザー)	3
ようこそ鳴門へ～新任教職員の横顔～	野口 哲也(国語), 樋上 和弘(数学), 松寄 昭雄(国際教育協力), 宮本 賢治(技術・工業・情報)	6
学園を築立つ前に	吉田 拓(社会), 船橋 知里(技術), 塚越大二郎(人間形成), 亀井 幸子(美術)	8
こんにちはは附属です		10
幼稚園児と触れあって	附属中学校 元木 康代	
Let's make up!	附属特別支援学校 森 浩一	
たこたこ あがれ	附属幼稚園 鍋山 由美	
はじめまして 附属小 保健室です!!	附属小学校 吉崎 容子	
部活でもガンバっています!		12
人形劇団ころぼくくる(高橋 愛)	野球部(佐々木嘉則)	
E.S.S.(篠原 亜衣)	創作ダンス部(南部 法子)	
研究室だより		14
協同的な学び文化の創造を目指して	皆川 直凡(人間形成)	
多様性を楽しまつつ	永田 良太(言語系(国語))	
図書館だより		16
健康手帳「米国の医療事情」	廣瀬 政雄(心身健康研究教育センター所長)	17
学生表彰について		18
国際交流		19
第3回中日教師教育学術研究集会に参加して	阪根 健二, 山下 一夫(臨床)	
日本留学フェア(台湾)に参加して	永田 良太(言語系(国語))	
友好の木	張 璇	
楽しい旅-奈良, 大阪へ見学旅行	姜 楊	
In dieser Ecke Deutschlands(ドイツのこの片隅で)	梅原麻衣子	
鳴門教育大学大学院を修了して	宗 暁川	
留学生現員表		
学生会・院生会だより		25
阿部 辰平(学生会会長), 本多謙一郎(院生会会長)		
お知らせ		26
鳴門市クリーンセンター廃棄物対策課からのお願い		
大地震に備えて		
薬物乱用 ダメ。ゼツタイ!		
盗難被害防止について		
かんたんレシピ		27
行事予定		28
編集後記		28
ALBUM		29

国際教育協力のもたらすもの



◆ 理事（学生支援・国際交流担当） 村田 博

学位記授与式を終えた皆さん、ご卒業・修了おめでとうございます。また、鳴門教育大学学校教育学部・大学院学校教育研究科は、今春めでたくご入学された皆さんを心から歓迎いたします。

昨夏から本年度末にかけて、たくさんの外国人の方々が本学に研修としてお見えになっておられたのをお気づきになられたと思います。太平洋に浮かぶ大洋州10ヵ国をはじめとして、フランス語圏アフリカ4ヵ国やアフガニスタン・イスラム共和国から総計30名弱の方々でしたが、いずれも国際協力機構（JICA）の技術協力計画の一環として実施された研修事業で、それぞれの国において教育の指導的立場にある教育省幹部・教員養成校校長・指導主事等の現職教員の方々でした。「日本の教育を学べ」ということでしょうか、校内研修・授業法改善・学級経営・地域参加型学校運営等の課題に対して非常に熱心に研修に取り組んでおられました。

鳴門教育大学は全国の教育系大学・学部の中でこの国際教育協力事業において抜群の知名度・成果を挙げている大学です。でも、果たして日本の教育は外国からお手本にされる状況が維持できているのでしょうか？

私自身も算数・数学に関する JICA の（短期）専門家として、南アフリカ共和国ムプマランガ州中等理数科教員再訓練計画（MSSI^{*1}）、アフガニスタン・イスラム共和国教師教育強化プロジェクト

（STEP^{*2}）のために出張し、教員養成大学校や学校現場を視察するとともに、現地の指導主事や教科主任クラスの教員に、授業研究会等を通じて指導する機会を得ることができました。埃っぽいがたがた道の行きつく先に電灯設備や黒板等が未整備の教室があり、教員の教育レベルも十分でない（間違いが多い）という実情ですが、なんと言っても忘れがたいのは子どもたちの輝く目・澄んだ瞳でした。これこそが将来を支える原動力でしょう。約50年前の戦後の日本に散見された環境に酷似しています。戦後復興を見事になし得た日本の経験を重ね合わせるとき、近い将来においてこれらの諸国に日本が追い越されてしまうのではないかという危惧さえ抱いてしまう程でした。

現在の日本の教育に関して“教育再生”を声高に叫び、およそ現実的でない方法論を持ち込もうと議論している面も少なくないと思っているのは私だけではないと思います。しかしながら、最近公表され先行実施されることになっている新学習指導要領では、ゆとり教育からの脱却ともいうべき内容が盛り込まれています。理数科教育の重視や週あたり授業時間数の増加にその傾向が見て取れます。

概数の扱いや計算力の強化は一朝一夕にはなし得ません。位取り記数法の会得も電卓ではなし得ません。そろばんを活用することも大事な指導法でしょう。現地の子どもたちの輝く目・澄んだ瞳を思い起こすとき、今後ますます教員の指導力が求められると実感しています。

*1 MSSI : the Mpumalanga Secondary Science Initiative Project

*2 STEP : the Strengthening of Teacher Education Program



退職にあたって

よき師、よき仲間、よき学びとたち

◆ 人間形成コース（旧・授業開発講座）、
教職キャリア開発支援オフィス担当

伊 東 正 貴

この3月に鳴門教育大学を卒業、また修了して
いく皆さん方に心からのお祝いの言葉を贈ります。
大学卒業当時を思い出し、私まで一緒に社会へと
飛び出したくなる衝動に駆られてしまいますから、
人は何年経っても若い時代に経験したことを忘れ
られないものだと思います。皆さん
方が私の年齢に達する頃にはどんな社会、どんな
世界に変貌しているのでしょうか・・・。

さて、私自身が大学の教壇に立つようになって
35年が過ぎたのですが、本当に月日は“光陰矢
のごとく”過ぎ去っていきます。私が皆さん方と
同じような年齢のときに学び、そして研究してい
たことは、力のはたらき方（非線形相互作用とい
います）なのですが、その研究を基礎にして、マ
クロ的には宇宙の成り立ち（宇宙科学）を、そし
てミクロ的には素粒子までの性質を調べることに
、実に幅広く勉強してきました。なぜそのように広
く学んできたか不思議に思われるかもしれません。
そのきっかけは十代の後半にかけての誰にでもあ
る人間的な悩み、青春時代の迷い、といったこと
にあります。直接に心の問題に入ることは難し
すぎるように考え、五感で捉えられる物質的な学
びからアプローチしていったわけです。そうした研
究をもとになぜ人はこのように複雑な応答をする
ことができるようになったのか、少しだけ理解で
きるようになった気がします。二十世紀に爆発的
に発展した科学技術の流れは止まることはなく、
更に情報量は増大していくでしょう。そういった
社会の発展、歴史の進展は止まることなく進んで

いきますから、それに合わせて生き、次の時代を
切り開いていける子どもたちを育てる教育の役割
は益々重要になります。

ただ、そうはいつでも、人がひとである限り、
大きく変わることはありません。私の祖父も教員
でしたし、父親も合格していた高等師範の数学科
をやめて、美術教師になりました（初任校が旧制
の和歌山女子師範学校）。今でも祖父の教え子、ま
た父親の教え子と親しくお話をすることがありま
す。教師と生徒のつながりはいつの時代にも強い
ものです。教師の影響力は非常に大きいのですか
ら、皆さん方にも心して勤めていただきたく思
います。

34年間の教師生活を終えるに当たり、沢山の先
生方にお教を頂いてきたこと、また数え切れな
いほどの援助を事務担当の方々から頂きました。
今更ながら感謝にたえないことです。そして一緒
に学び、研究を共にしてきた学生諸君・学びとた
ちは既に社会の一線にたって活躍していることを
誇らしく思いますし、また、教育の意味を合わせ
て、長年抱いてきた疑問の多くに対し、その答え
を自分の言葉で語れるようになったことを心地よ
く思います。

さて、皆さん方はどのような目標を掲げ人生を
歩もうとしているのか、また、どのような問題意
識を持って社会に飛び出していこうとしています
か？

（基礎・臨床系教育部）



退職にあたって

教育の光る聖地

◆ 言語系コース（英語） 太田垣 正義

ハンティングされてのこのこ来た鳴門
里浦の宿舎が目指す目的地
見晴るかすキャンパス砂塵舞っていた
ぬかるみの中傘さして食堂へ
学長は加賀前田家の末裔で
正門の南国趣味も前田流
学生は修士1年だけの春
歳の幅どれが生徒か先生か
創設の頃の面影懐かしき
目を閉じて四半世紀を巡らせる
教育の光る聖地にきつとなる
鳴教大の栄光祈り去ってゆく

(人文・社会系教育部)





退職にあたって

教員養成大学として一層の飛躍を

◆ 教員就職支援チーフアドバイザー 榊 博

教員就職支援チーフアドバイザーとして平成16年10月より本学に赴任し、4年6ヶ月の間、鳴門教育大学でお世話になりました。

赴任当時、まず一番に知らされたことは本学の中期目標の1つが「平成18年までに学部の教員就職率を60%にする」ということでした。因みに、平成16年3月卒業者の教員就職率は41.4%で、全国の国立系教員養成大学・学部48校中第44位でした。この統計は、毎年、前年度の卒業者の就職状況(9月30日現在)を文部科学省がまとめて発表しているものです。その後、教員就職率は、平成17年(62.4%)、平成18年(62.7%)、平成19年(64.0%)、と順調に伸びてきました。そして本年、平成20年は66.9%となり、これは全国国立系教員養成大学・学部中ベスト5で、本学としては過去最高の成績を修める結果となりました。このなかでも特筆すべきは、平成18年の教員就職率です。正規合格者の割合が非常に高く、全国で第6位でした。さらに、大学が設置されている地元の都道府県の教員採用数からみた比率では全国第2位でした。

次に大学院長期履修学生の教員就職状況は、平成20年3月修了(第1期生)の教員正規合格率が29.7%、そして今年度は51.7%と大幅に伸びてきております。

これは本学が教員就職率の向上を重点目標として取り上げ、全教職員が努力を重ねてきたことが結果となって現れたものだと思います。特に、先生方が講義、ゼミの指導、研究活動に多忙を極めている中を就職支援室の支援行事の面接官や各都道府県の情報収集等のほか各コースで模擬面接や模擬授業などを指導されてきたおかげであると思います。また、就職支援担当として献身的な努力をされた職員の皆さんの力があったことを忘れてはならないと思います。さらに大きな要因として学生の皆さんが教員採用審査に向けて真摯に取り組んできたことです。後に続く学生の皆さんも先

輩にならって頑張りたいと願っております。

次に教員養成を目的としている本学の学校教育学部について、教員就職支援という視点から感じたこと(願望も含めて)や今後の課題について述べてみます。

- ① 教職の専門的な知識・技能の習得はもちろんですが、現場で必要とされるコミュニケーション能力や文章表現力、授業構想力などをしっかりと磨いて欲しいと思います。
- ② 今、現場は即戦力となる教員を求めています。それに応えるためにも現実に教育現場で起こり得る事象を例にしてその解決法も含めて指導し、講義だけでなくロールプレイングの手法や効果的な学校・学級事務処理の仕方(実際に現場の先生方はこれらのことに多くの時間を割いています。)等も大学の授業の1つとして取り入れるとどうでしょうか。
- ③ 毎週水曜日の午後と土曜日(年間に3~4回実施)は、教採対策やその他の就職支援行事を実施していますが、授業や種々の行事と重なり、学生が参加するのが難しくなっている現実があります。何か良い改善策があるとよいのですが。・・・

その他、教員養成及び教員採用審査の在り方等について思う所も種々ありますが、紙面の関係もあり省かせてもらいます。

最後になりましたが、鳴門教育大学が今後、「教育の一番札所」として日本における教員養成と教育研究において不動の位置を占めることを祈念して退職の挨拶とさせていただきます。



少年のフルート震え春の雪

榊 万鬼

(人文・社会系教育部)

ようこそ鳴門へ～新任教職員の横顔～

着任のご挨拶



10月1日付で言語系コース（国語）担当教員として着任いたしました，野口哲也と申します。これまで泉鏡花という作家とその作品

について研究して参りましたが，現在は少し広く構えて国文学（近現代文学）を担当しております。

群馬県の草津町から東北大学に進学し，長らく仙台で過ごしておりました東夷^{あづま}で，こちらに来てから気候や食べ物，言葉など驚くことばかりです。椰子の木に囲まれたクリスマスも悪くないですね。鳴門の恵まれた環境で教育・研究に従事できることを大変嬉しく思っております。

◆ 言語系コース（国語）講師 野口 哲也

学生・院生の皆さんがそれぞれの目標に向けて意識を高く持ち，充実した時間を過ごされている姿はとても頼もしく見えます。ただ，身近すぎて見過ごしがちなものに立ち止まったり，遠くに置いてきてしまったものを振り返ったりする時間も大切ではないでしょうか。私はそんな姿勢で，日本語や日本文学，そして皆さんに接していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

（人文・社会系教育部）



着任のご挨拶



昨年10月に自然系コース（数学）担当教員として着任いたしました。数学と物理学の境界領域である数理物理学を専門に研究して

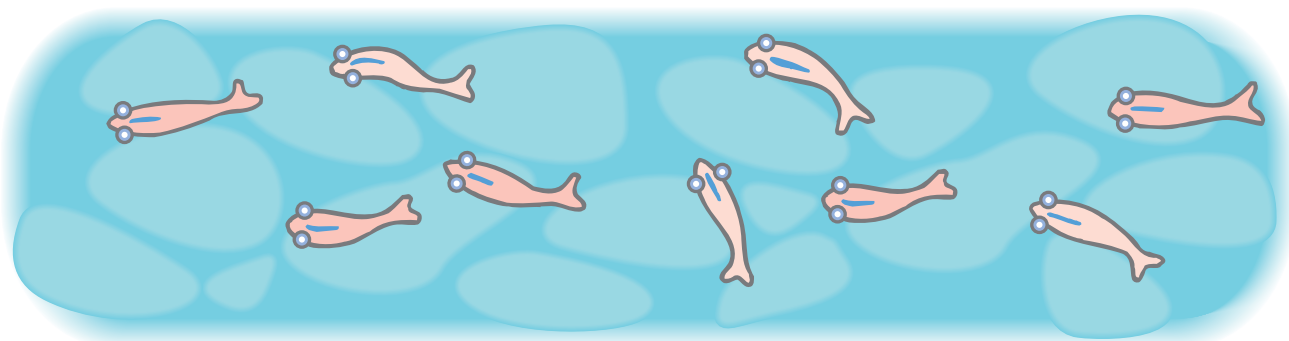
おります。今後とも従来の枠にとらわれることな

◆ 自然系コース（数学）准教授 樋上 和弘

く様々なことを学んでいきたいと思っております。

微力ではございますが，大学のさらなる発展のために尽力いたす所存でおりますので，よろしく願いいたします。

（自然・生活系教育部）



ようこそ鳴門へ～新任教職員の横顔～

大学教員としての新たな一歩



10月に着任しました松寄です。9月まで、国立大学法人筑波大学附属駒場中・高等学校の数学科教諭として教壇に立っておりました。

3月に JICA 連携融合事業の一環で、中米ホンジュラス共和国の高校生を対象として、テクノロジー利用を前提とする数学授業の提案と実践をおこなったことが1つの契機となり、国際教育協力の仕事に携わる機会を得て、この度、本職に就くこととなりました。

大学院の講義では、開発途上国で利用可能な ICT を考慮しつつ、注目を集めているわが国の授

◆ 国際教育協力コース 講師 松 寄 昭 雄

業研究や授業分析の手法を踏まえ、ICT ツールを活用した教材開発について、実践的視点を大切にしながら学生の皆さんと意見を交わしていきたいと心がけています。兼務している教員教育国際協力センターの業務の1つである JICA 研修員に対する講義では、理数科授業における ICT ツールの利用について講義しています。これまで研究を進めている算数・数学教育はもちろん、国際教育協力分野に役立つ ICT 利用に関する研究も進めていますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

(自然・生活系教育部)



着任のご挨拶

◆ 生活・健康系コース (技術・工業・情報) 准教授 宮 本 賢 治



昨年10月に着任しました宮本です。生活・健康系コース (技術・工業・情報)、電気分野の担当です。これまでの経歴ですが、日本原子力研究所 (現、日本原子

力研究開発機構) で7年ほど核融合の、また日本電子 (株) で4年半ほど質量分析装置の研究開発にそれぞれ従事してきました。どちらかといえば学校教育とは異なる道を歩んできたこともあり、教育に関してはまだまだ戸惑うところは多いのですが、担当コースの先生方の温かいご支援の下、精進する日々を過ごしています。

私の携わってきた研究開発の1つである質量分

析装置ですが、その名が示す通り、ある未知の物質の質量を測定し分析することで、その物質が何かを特定する装置です。今から7年前に島津製作所の田中耕一氏がノーベル化学賞を受賞されましたが、氏の研究テーマである「たんぱく質の解析装置」が質量分析装置に相当します。質量分析装置は主にバイオ・創薬・環境等の分野で用いられていますが、それ以外にもオリンピック等でのドーピング検査で用いられています。

浅学非才な私ですが、企業経験を生かして少しでも大学のお役に立てるよう精一杯努めて参りますので、どうぞよろしくお願ひします。

(自然・生活系教育部)

学園を巣立つ前に

この空の下で・・・

◆ 学校教育学部 吉田 拡

大学の4年間は、よく一人旅をしました。原付で四国を一周し、単車に乗り換えた後は、和歌山、神戸、広島、岡山などを巡りました。公園での野宿も経験しました。なぜ、一人旅をするのかといえば、一人になることで自分を見つめ直したかったからです。まあ、よく言う「自分探し」ですね。一人になって広い空を眺めてみると、「今頃みんなは何してるかな…」と思うことがよくありました。

私は、今年から徳島県で警察官として働きます。教育実習で関わった、あの子ども達の笑顔を守りたかったからです。警察官の訓練は大変厳しいものだと思っています。投げ出したくなる日も来るかもしれません。でもそんな時こそ、空を見上げ

たいと思います。

「鳴教で共に学んだ仲間が、この空の下で頑張っている。だから、オレも頑張ろう！！」

〈中学校・社会〉



充実した学生生活

◆ 学校教育学部 船橋 知里

こんなにも自由で楽しい生活があっただろうか…と不安になりながらも、笑いの耐えない素晴らしい毎日を過ごしてきました。寂しさと不安で押しつぶされそうになり、毎晩泣きながら家族に電話をかけていた頃が、とても懐かしく思い出されます。技術科なのにパソコンが使えず、前代未聞の手書きレポートを提出していた私が、情報分野をテーマに卒業論文を書き上げるまでになったことひとつをとっても、4年間という年月の重みや深さを感じることができます。

何でも一人で完璧にこなそうと気負っていた私が、皆で協力することの大切さや素晴らしさを学べたのは、技術科やバレー部などを通して出会っ

た仲間の存在があったからです。

励ましあい支えてくれた友人、実習先の元気な児童生徒、成長を見守ってくださった先生方、応援し続けてくれた家族…出会ったすべての人に感謝の気持ちでいっぱいです。

4年間で得た貴重な経験やあたたかい人との出会いを胸に、これから出会う子どもたちともすばらしい時を過ごしていきたいと思います。

ありがとうございました。

〈中学校・技術〉



学園を築立つ前に

教育の未来

◆ 学校教育研究科 塚越 大二郎

3年を経て、この鳴門教育大学大学院で得たものは無数にあります。しかし、その中で私の一番の財産となるものは、自分にはない経験を持った方との出会いです。教育大学という背景から、皆が「教育」のことを真剣に考えていました。教育への携わり方はそれぞれ違えど、日本中、世界中で教育をさらに良くしようという情熱を持った方が多くいることに気がつき、当初は教育が良くなればいいのという希望だけだったのが、教育の将来は明るいものになるという確信を持ちました。そして、私もその一翼を担えるよう、高邁な理想を抱き、人格の涵養と陶冶に努め、日々精進して参りたいと思います。

この場を借りて、最先端の理論や実践法を教えてくださいいただいた大学の先生方、生きた現場の情報や豊富な経験を伝えていただいた現職教員の方、有益で的確なご助言をいただいた先輩方、いろいろな場面で支援をしてくれた後輩たち、そして、期を同じく熱き志を抱き鳴門教育大学大学院に集った同輩たち、私と接して下さった全ての方々に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。そしてこれからも宜しく願いいたします。

〈学校教育専攻人間形成コース（長期履修）〉

かけがえのない日々

◆ 学校教育研究科 亀井 幸子

大学院での2年間は、予想通りあっという間に過ぎてしまいました。しかし、この2年間でいろいろな人との出会いがあり、様々な経験をすることができました。高校で美術を教えた生徒と大学院で同級生になるという、うれしい再会もありました。

大学院では、美術大学で作品の制作しか経験のない私に、研究の意義や具体的な方法、論文の書き方など本当に様々なことを教えていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

また、学校で目の前の仕事に追われる日々を送っていた私にとって、自分を見つめ直す機会となりました。生徒を教える立場から学生の立場になり、教師という重圧から開放され、学ぶ楽しさ

を改めて実感することができました。中学生の息子に「その歳になって何が楽しくて勉強しているのか。」と言われるたびに「何かを学びたいという気持ちに歳なんか関係ない。」と言い返ししながら、必死で課題のレポートに取り組んでいたことがなつかしく思い出されます。本当にかげがえのない貴重な日々であったと思います。学校現場に帰っても学ぶ楽しさ、研究の大切さを忘れず、大学院で学んだことを生かせるよう努力していきたいと思っています。

〈教科・領域教育専攻 芸術系コース（美術）〉

中 学 校

幼稚園児と触れあって



毎年、附属中学校の3年生は技術・家庭科（家庭分野）の時間に附属幼稚園

園を訪問し、園児たちと触れあう学習を行っています。授業の中で、幼児の心身の発達の特徴や基本的な生活習慣、遊びの意義等について学習を進め、生徒は園児たちとうまく接することができるかなあという不安と、どんな遊びをしようかという期待が膨らんでいきます。

実習の当日、最初はおどおどしていた中学生は、「一緒に遊ぼう。」と園児から声をかけられ、遊び

◆ 附属中学校 元 木 康 代

の輪の中に入ると穏やかな表情に変わります。そして、満面の笑みを浮かべ、一生懸命、園児と遊びます。砂場で山をつくったり、ドッジボールでゲームをしたり、落ち葉や木の実を拾って、創作活動をしたり……。園児がどんどん遊びを広げていくうちに、生徒は自分の幼かった頃を思い出し、心の底から楽しく、とても幸せな気持ちになるようです。遊ぶことは園児にとって成長するための最大の栄養素なんだと気づきます。そして、自分をここまで育ててくれた家族に感謝の気持ちも持つようです。

これからも、附属学校としての恵まれた環境を生かし、幼稚園児と触れあう体験を通して、幼児に関心をもつとともに、家族や幼児に主体的にかかわることができる生徒を育てていこうと思います。

特別支援学校

Let's make up !

「かわいい〜」、「きれ〜」、「かっこいいぞー」。そんな驚嘆の声やざわめきと共に、子どもたちの笑顔がはじけます。高等部になると、社会へ出るための準備を着々と進めていくことになります。その一環として、地域のエステサロンで活躍されている外部講師を招き、本格的なメイクアップに挑戦するメイクアップ教室は、子どもたちの表情がひととき輝く年中行事の一つです。

クレンジングから始まり、様々な段階を経て、メイクアップはどんどん進んでいきます。その様子は、まるで、顔というキャンバスに絵を描いていく芸術のようでもあり、子どもたちも、みるみる変わる自分の顔を、ドキドキしながら見つめていました。できることは、自分でもさせてもらえるので、「もう一度してみたい。」とか、「ちょっと自分でもしてみようかな。」という気持ちにさせて

◆ 附属特別支援学校 森 浩 一

くれます。

締めくくりのファッションショーは、保護者にも見てもらいました。会場は、子どもたちのうれしそうな笑顔と、職員や保護者のあられるような笑顔でいっぱいになりました。

子どもたちには、このような経験を実際の生活に活かして、ステキでかっこいい自分に磨きをかけて欲しいと思います。



幼稚園

たこたこ あがれ

1月19日、木枯らしの吹く中、附属幼稚園の園児たちが鳴門教育大学に凧揚げ遠足に出かけた。今回は幼年発達支援コースと合同で行う自然プロジェクトの一環として、計画されたものである。

学生のみなさんが指導計画を立案し、万全の環境準備をした中で、巨大凧や、連凧、ぐにゃぐにゃ凧などを作った。教育実習の先生の姿を見つけると、幼児らの間に歓声があがり、学生たちのサポートを少し受けながら、自分たちの力で凧を作り上げていく。幼稚園ではなかなか経験できない、広い場所で思う存分凧を揚げるができることに、彼らはとても興奮してい



◆ 附属幼稚園 鍋山由美

た。ひもをしっかりと握りしめ、走ると、凧が風をはらんでひもがピンとなる。手を伝わってくる風の力を感じながら、風に向かって走る彼らの頬は真っ赤になっていた。

困ったときに支えてくれる大人たちに見守られながら、

『風』と遊ぶ楽しみを味わう中で、人とのかかわりの温かさや風の不思議さ、力強さなどをしっかりと感じていたようだった。

このように、園児らが豊かな経験ができるよう、また、安全に楽しく遊べるようにと細やかに配慮してくださった大学の先生方、学生のみなさん、保護者の方々、本当にありがとうございました。

小学校

はじめまして 附属小 保健室です！！

本校には、外国の先生方がよく来校されます。保健室の見学では、世界的にユニークな職種である養護教諭の存在に関心をもたれ、興味深そうに見ていらっしゃる先生方もいます。時には、仕事の内容を尋ねられ、一瞬、スクールナースとの違いをどのように説明すればよいのか、戸惑ってしまうこともあります。なかなか一言で言い表せない……それが養護教諭の仕事なのかもしれません。

今年で、附属小学校での勤務も3年目になりますが、子どもたちの真っ直ぐなまなざしやキラキラした笑顔に出会い、養護教諭としてかかわることのできる喜びを感じています。

保健室には、毎日、たくさんの来室がありますが、私たち大人が想像する以上に、心と体にたくさんのものを抱えながらがんばっている子どもたちもいるようです。また、保護者の中には、子育

◆ 附属小学校 吉崎容子

てに関する悩みを抱えていらっしゃる方もいます。寄り添い、思いを受け止めることで、子どもたちや保護者にとって、身近に感じられる温かい存在でありたいと思っています。

「保健室って、なぜか落ち着くよね。」そんなつぶやきの聞こえる保健室をつくること……これが、私の大切にしていることです。



部活でもガンバっています！

火曜どうでしょう??

「多くの人に楽しんでもらえる人形劇を」という志を持ちつつも、まずは自分たちが楽しむことを心掛けています♪ 部員はみんな仲良しで、一緒にご飯を食べに行ったり、忘年会・新年会等で一発芸や罰ゲームをしたりして、盛り上がりました！

人形劇って難しそう…、地味かも…、練習が長そう…。否！そんなイメージを払拭させます！まずはクラブハウス二階にお越し下さい。お菓子を贈呈します。(笑)

練習は週に1回(現在は火曜日、部員で話し合っ
て決めています。)、部員全員が兼部、及びアルバイトをしています。

人形劇以外にも、北島小学校へ絵本の読み聞かせのボランティアに行っています。私は実習でこの経験を活かし、読み聞かせをしました。ある部

◆ 人形劇団ころぼっくる 高橋 愛

員は人形劇を通して声の通りが良くなり、実習先で先生に誉めて貰っていました。人形劇を通して自分自身を成長させてみませんか？

大学で新生活を始めるみなさん、ころぼっくるに入部しょー！！

(小学校・国語 3年)



Let's Enjoy English !!

◆ E. S. S. 篠原 亜衣



皆さん、E.S.S.って何の頭文字をとっているか知っていますか。

私も最近知ったことですが、English Speaking Societyの頭文字を取ったものだそうです。つまり、“しゃべり場 in English”なんです。こう聞くと、英語しか使っちゃいけない気がしますが、そんな堅苦しい感じではなくて、みんなで楽しく活動しています。具体的に、どんな活動をしているかというと、①話す活動 ②小中学校でも使えるゲーム活動 ③TOEIC対策勉強会 ④映画鑑賞と4つの活動を1週ずつローテーションして行っています。どの活動も楽しくて(③は楽しいとは言えませんが…)ためになります。学校での活動の他に

も、去年は夏休みに四国大学の方と徳島県内の小5・6年生を対象に2日間英語活動(具体的には、英語で絵本を作ったり、歌を歌ったり、ゲームをしたり…etc.)をしました。また、公民館のおたのしみ会で、簡単な英語活動もしました。このように、自分たちで英語を楽しむだけでなく、子どもたちと一緒に英語を楽しむ活動もしています。

現在、E.S.S.の部員はほとんど英語科です。最初に言ったように“しゃべり場 in English”なので、他の科の人たちには、入りにくいと思う面もあると思いますが、私たちは大歓迎です。話せるようになりたい！！英語で遊びたい！！勉強したい！！映画が見たい！！と少しでも思われている方、一度足を運んでみてください。

部員一同、お待ちしております。

(金曜日 18時から第3集会室で活動中)

(中学校・英語 2年)

部活でもガンバっています！

目指せ 一部昇格！

◆ 野球部 佐々木 嘉 則

鳴門教育大学野球部は現在、四国六大学野球リーグの二部に所属しています。私たちは一部昇格をチームの目標に掲げ、週3回の練習に取り組んでいます。

私たちのチームには監督がおらず、選手たち自身で練習を考えたり、試合の指揮をとったり、部そのものを運営しており、まさに学生だけのチームになっています。部員の数を決して多くはないのですが、大学から野球を始めるとい人もいます。その中で、みんなが意見を出し合いお互いが信頼しあえる関係作りをすることができており、上級生、下級生という枠をこえて仲良く野球ができるというのが、この野球部の魅力の一つです。

一部昇格のために勝利を目指して戦っていく、しかしその中でも、少ない人数で野球を楽しむということを忘れない、これがこの野球部のスタイルです。

4月から始まる春のリーグでは、昨秋二部で優勝を逃した悔しさを晴らすためにも、また今まで野球部の歴史を築いてこられた先輩方、練習を手伝ってくださった先輩や応援して下さる人たちのためにも二部で優勝し、一部との入れ替え戦で勝利し、なんとしても一部昇格を果たしたいと思っています。

(中学校・保健体育 3年)



平成20年度 とくしまボランティア賞受賞

だからダンスはやめられない！

◆ 創作ダンス部 南 部 法 子

こんにちは、創作ダンス部です。私達は学内・学外問わず幅広い活動をしています。活動の一つとして、週に一度、アワー「いきいきリズム運動教室」があります。幼稚園から小学校の子どもを対象に、ゲームやリズム運動、ダンスを教え一緒に踊ることを通して、地域の子どもと交流を深め、仲良く楽しく活動しています。今回は、長年にわたり続けてきたこの活動が評価され、徳島県よりボランティア賞をいただくことができました。そして何より、リズム教室の先生として子どもと関わることで、健康・安全面への配慮やダンスという集団演技における指導、保護者との関わり等、将来教師になるために必要な経験になっています。

その他には、インカレや All Japan Dance Festival などの大会に出場し創作ダンスを踊ったり、施設訪問や大学祭で様々なジャンルの曲に合わせたダ

ンスパフォーマンスをしたりしています。そしてこのような活動の集大成として、年に一度定期公演を開催し、運営から出演までを私達の手で行っています。すべてを作り上げていく大変さもありますが、支えてくれる人達の温かさを感じることができます。

このようなダンス部としての活動の一つひとつが私達を成長させてくれます。たくさんの貴重な経験ができるダンス部に是非…！！

(中学校・家庭 3年)



研究室 だより

協同的な学び文化の創造を目指して

◆ 人間形成コース 准教授 皆川直凡

本学に私の研究室が誕生してから、9年の歳月が流れようとしています。2008年度は、大学院2年次5名（うち長期履修3年次1名）、1年次3名、学部4年次2名、3年次1名と、私を含め総勢12名が所属し、2009年3月には、合計7名の修了生・卒業生を送り出します。

私の専門分野は、基礎分野としては認知心理学、応用分野としては教育心理学です。理解、思考、表現、コミュニケーションといった知的な心の働きとその発達・個人差を研究し、その成果を基盤として、感性に富み、賢さと優しさを兼ね備えた真の意味での知性を育む、協同的で豊かな学びを支援・促進する教育プログラムを開発し、小学校、中学校などの教育現場に提供しています。

ゼミ生は、人間の心が生み出した、さまざまな創作物（物語、絵本、子どもの作文、俳句など）や、人と人との間で営まれるさまざまな活動（話し合い、読み聞かせ、感情表出など）を題材としてとりあげ、児童期と青年期を主な研究対象として、認知能力とコミュニケーション（表現・伝達）能力の発達と個人差についての基礎的研究、知性と社会性をはぐくむ教育についての実践的研究を行っています。私と一緒に心理学会に参加し、見識を深める人もいます。小学校や児童図書室での

読み聞かせなどボランティア活動に情熱を注ぐ人もいます。研究室出身の小・中学校教員（現職教員として大学院で学ばれた方、卒業・修了後に教職に就かれた方）との共同研究も進めています。研究室が一体となって、知識や価値観のやりとりが人と人との間で豊かに行われるような協同的な学び文化の創造をめざしています。

私は、心理学の立場から、俳句という日本固有の短詩型の教育力に注目してきました。俳句では、季節の風物を媒体として、作り手と読み手の心の交流が行われます。俳句を通じて、季節の風物についての知識も獲得されます。そうした俳句の特徴に、知識偏重ではなく、感性に富み、人の気持ちを思いやることのできる知性を育てる教材としての可能性を見いだしてきたのです。この考えを教育現場に伝えるとともに、大学院のゼミ内でも実践し、年に5回程度、俳句会を行っています。研究指導のゼミは教育効果を考えて学年別・テーマ別に行っており、全員が集まる機会はほとんどないのですが、句会の際だけはみんなが集まり、お互いの作品を鑑賞し合ったり研究の進み具合を伝え合ったりしながら親睦を深めています。私にとっても、学びと癒しのひとときとなっています。

（基礎・臨床系教育部）



(M1のゼミ風景)



(句会風景)

研究室 だより

多様性を楽しみつつ

◆ 言語系コース（国語） 准教授 永田良太



鳴門教育大学に着任して4年が経ちました。この間、大学院生9名、学部生7名を指導する機会に恵まれました。特に、大学院生に関してはその多くが留学生でした。また、これ以外にも海外の学術交流協定校からの短期留学生5名もゼミに参加してくれました。

ゼミ生の研究テーマは日本語の語彙・文法から会話の仕組みまで多岐にわたりますが、共通するのは日本語を対象化して分析するという事です。これは普段何気なく日本語を話している我々にとっては難しいことですが、その際に「留学生の目」というのは貴重な視点を与えてくれます。ゼミの中で投げかけられる日本語学習者としての疑問や意見には戸惑うことも多く、自分は日本語を話すことができるのにその規則が説明できないもどかしさは何度感じたかわかりません。しかしながら、それらの疑問に答えるべく、日本語の規則を調べてみると、自分がいかに複雑な規則を駆使して日本語を話しているのかということに気づき、驚かされます。

このような発見の驚きは言葉に限ったことでは

ありません。留学生達が日々の暮らしの中で経験することやそこで抱く疑問を聞くことで、日本社会というものを再認識させられることも多くあります。

このように、「留学生の目」は普段意識することがない日本語や日本社会を対象化し、それを考えるための貴重な視点を与えてくれますが、留学生自身にとっても、日本語を研究することは自らの母語を対象化する良いきっかけになると思います。日本語や日本社会について理解することで、自らの母語や社会についての理解を深めてくれることを願っています。

永田ゼミにはこのような多様性とそれにもとづく発見の喜びがあります。これまで、ゼミの時間に私自身多くのことを学ぶことができました。このような時間を与えてくれるゼミ生に感謝しつつ、これからも一緒に楽しんでいきたいと思っています。これまでのゼミ生のみんな、どうもありがとう。そして、これからのゼミ生のみんな、どうぞよろしく。……と書いている時に、メールの着信がありました。件名は「ご指導よろしく申し上げます」。今日は1月15日。卒論・修論の提出期限まであとわずか。来年こそは余裕をもって、と思いつつも提出はいつも最終日。これが永田ゼミのいつもの光景です。

(人文・社会系教育部)



図書館だより

卒業・修了後の図書館の利用について

卒業・修了後も図書館を利用することができます。利用方法としては、以下の2つの方法があります。

◎来館しての利用

図書の貸出、館内資料の複写等ができます。

図書の貸出希望の場合は、身分証（保険証等）を持参してください。「卒業生・修了生利用証」を発行いたします。（その際には、卒業生・修了生であることを申し出てください。）

◎非来館での利用

図書の非来館貸出サービスを行っています。

利用者から申し込まれた図書について郵送等により貸出を行うものです。なお、郵送料は申込者負担となります。

貸出手続きの詳細については、図書館ウェブページ (<http://www.lib.naruto-u.ac.jp/>) のサービスガイド→「一般利用の方へ」→「非来館貸出」をご覧ください。電話でお問い合わせください。（TEL 088-687-6156）

* 来館貸出、非来館貸出ともに図書の貸出冊数・貸出期間は以下のようになっています。

貸出冊数	貸出期間
5冊以内	1か月以内

※卒業・修了生はCD、雑誌の貸出ができません。

各種ガイダンスについて

図書館では、学内の方を対象に下記の期間にデータベース検索や、雑誌論文などの収集を手助けする各種ガイダンスを実施しています。

詳しい日時などは、図書館掲示板、院生研究室などに適宜掲示いたしますので、ご確認の上、お申し込みください。また、それ以外でも相談を受け付けておりますので、平日の17時30分までにカウンターへお越しください。

4月／新入生のための図書館オリエンテーション

6月～7月頃／情報検索ガイダンス

（大学院生、学部生、教員対象）

10月頃／データベース講習会

（大学院生、学部生、教員対象）

鳴門市立図書館との連携・協力活動

鳴門市立図書館と資料の相互利用、子育て支援と読書推進活動等の地域連携事業について協力活動を行っています。

資料の相互利用では、鳴門市立図書館にある図書の借用・返却を大学図書館カウンターで受け付けます。

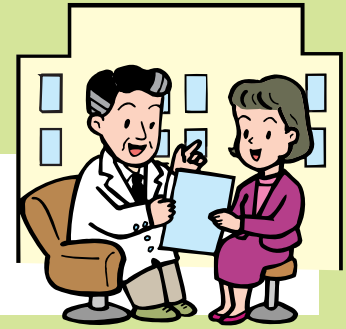
また、利用者自身が徳島県立図書館で借りた図書の返却も受け付けます。

なお、週1回の配送システムのため、返却日のタイムラグが生じる事もありますが、「相互貸借」システムを大いにご活用ください。



米国の医療事情

◆ 心身健康研究教育センター 所長 廣瀬 政雄



国民の健康レベルは経済状態と密接に関係しています。現在、世界で最高レベルの医療を提供できる国は米国ですが、世紀的な不況により医療制度が今後どのように変貌するのか興味もたれます。現在の米国の医療制度について考えてみたいと思います。

米国の医師養成の仕組みですが、4年制大学で理系の科目を履修した学生が医科大学入学試験（medical college admission test, MCAT）とよばれる試験を経て、4年制の医学専門職大学院に進みます。卒業後、マッチングによりインターン（1年間）とレジデンシー（3-6年間）の研修の後、しかるべき病院でフェローシップ研修（3-10年間）を受けて、専門医を目指します。

医療スタッフの数は、米国では大学病院クラスの病院では1,000床あたり6,000人程度といわれており、この他に800人ほどの医療ボランティアがいるそうです。ボランティア活動は、MCATを受験するのに重要視されるので、医学部進学を考えている学生も多く参加します。医師には2種類あり、正規の医師のほかにPA-C（physician attendant certificate）という職種があります。PA-Cは平時には勤務医をしています。州によっては開業もできるようです。戦争になると従軍医師として戦地に赴きます。看護師にも2種（正・准）の職種があり、パラメディカルには薬剤師、ソーシャルワーカー、搬送係などがあり、非常に充実しています。例えば、搬送係においては、書類の搬送、リネン類の搬送、注射液の搬送、内服薬の搬送などに分かれていて、質問をするとそれぞれの職分について、滔滔と説明してくれます。日本の大学病院では、1,000床あたりの医療スタッフは約1,500人であり、彼我の差は歴然としています。このような豊富な職種に対する費用は、日本の4-5倍といわれる診療報酬と企業からの寄付によってまかなわれています。

開業医は日本と同じですが、医師が自分の診療所と大学病院などの医師を兼ねることができる点が違います。日本でも最近、病診（病院と診療所）連携システムが取り入れられていますが、診療は病院医師が中心となって行なわれます。また、放射線科の開業医は、日本ではめったにいませんが、画像診断などで開業医向けの検査を提供しています。

健康保険の制度では、国民一般は主に民間の営利・

非営利保険者の医療保障プランに加入します。勤務先の会社が雇用者の保険の一部を負担する民間被用者保険と、自営業や自由業、雇用先が保険に加入していない雇用者などが個人で加入する民間保険があります。主な民間医療保障プランは出来高払型と管理医療型に分けることができます。出来高払型は日本の制度に似ています。公務員は国と本人が50%ずつ保険金を負担します。昨年、米国の人口は3億人を越えましたが、4,500万人には健康保険がありません。高齢者、障害者あるいは低所得者に対しては、社会保障プランが公的保険の役割を果たして、自己負担のない「メディケア」とか「メディケイド」といわれるものです。病院を受診して、病名と治療方針および治療費が明らかになったときには、自分が契約している保険会社に連絡して、支払いと負担割合の確認をしておくほうがいいようです。

健康保険に加入していなくても最先端の治療が受けられる制度があります。治験といわれるもので、毒性や効果が明らかな新規の薬剤をFDA（食品医薬品局）に申請する最終段階で、症例数を増やすために行なうものです。参加協力費として、\$500～2,000が患者に支払われます。病院の収入としても大きいものです。

ジョンズホプキンス大学病院では、院内往診とでも呼ぶべき制度があり、外来患者に対して必要な診療科の医師が尋ねてくるという、日本にはない診療形態があります。また、病院の最上階にはスイートルームのような入院室があり、アラブの王族などの世界の富裕層に医療を提供しています。開業医は丁寧に説明してくれ、問題があったらいつでも連絡してよいと言ってくれます。訴訟社会ならではの光景と思われました。ただし、20年前に聞いた話ですが、フロリダ州では産科の医師の年収と訴訟に対する保険料がほとんど同額になってしまい、開業医がいなくなったということでした。最近、医療のあり方に対して、医療保険会社の意向が色濃く反映されるようになってきているといわれますが、ここにも市場原理が持ち込まれているのでしょう。

日本と米国の医療制度を比較すると、少ない負担で誰でも標準的な治療が受けられるのが日本の制度であり、健康保険も治療のレベルも負担次第というのが米国の制度といえそうです。

（芸術・健康系教育部）

学生表彰について

本学には、課外活動等において、優秀な成績を修め、かつ本学の名譽を高めた場合において当該学生又は学生団体を学長が表彰する学生表彰制度があります。

平成20年度における表彰が決定した方々は、次の皆さんです。



	氏名(団体名)	所 属 (学 年)	表 彰 事 由
前期	阿部 友彦	中学校・社会 1年	第24回全国教育系大学弓道選手権大会 個人戦 優勝
	張 璇	言語系(国語)・M1	外国人による徳島県日本語弁論大会 最優秀賞
	長安 宏樹	言語系(国語)・M2	第13回全日本高校・大学生書道展 大賞 ほか
	寺島 幸生	自然系(理科)・M2	「若ものを考えるつどい2008」作文公募 日本勤労青少年団体協議会会長賞
	久保 菜月	芸術系(美術)・M2	第82回国展 絵画部奨励賞
	五島 綾子	芸術系(美術)・M2	アクリル大賞展2008 U35賞, 第43回関西国展新人賞
	野村林太郎 永野 直	生活・健康系 (技術・工業・情報)・M1	2008 PCカンファレンス 優秀論文賞
	植田 彩貴 島田 祥子	生活・健康系(保健体育)・M1 小学校・英語 3年	第59回四国地区大学総合体育大会 バドミントン女子ダブルス第2位
	剣 道 部 (女子)		第59回四国地区大学総合体育大会 女子団体戦第3位
後期	島田 晃良	中学校(音楽)・2年	第55回徳島県音楽コンクール(木管楽器部門 大学・一般の部) 最優秀賞
	山田 亜耶	中学校(音楽)・4年	第55回徳島県音楽コンクール(声楽部門 大学・一般の部) 優秀賞
	長安 宏樹	言語系(国語)・M2	第5回真太陽国際書道展 書道(大学生)の部 真太陽準大賞 第55回日本学書展(高等学校・大学学生の部) 準特選 第44回兵庫県書道展 兵庫県知事賞 ほか
	創 作 ダ ン ス 部		平成20年度とくしまボランティア賞

溝上賞

この溝上賞は、本学の第4代学長、名誉教授であります溝上 泰氏の功績をたたえる顕彰事業として設けられたもので、溝上氏から寄贈された基金によって運営されており、上記の学生表彰被表彰者のうち、特に顕著な功績をあげたものの中から一人又は1団体を表彰するものです。

平成20年度の受賞は、次の方に決定しました。

長安 宏樹(言語系(国語)M2)

前田賞

この前田賞は、本学創設に寄与された初代学長の故前田嘉明先生の功績をたたえる顕彰事業として設けられたもので、前田先生から寄贈された基金とその趣旨に賛同された方々の御寄付によって運営されており、学業面又はスポーツ・文化面で優れた業績をあげた学部学生を表彰するものです。

平成20年度の受賞は、次の方々に決定しました。

学 業 粹

笠原 正伸(小学校・国語 4年)
船橋 知里(中学校・技術 4年)



第3回中日教師教育学術研究集会に参加して

- ◆ 臨床心理士養成コース 准教授 阪根 健二
- ◆ 学長補佐・同研究集会準備委員会委員長 山下 一夫

北京オリンピックが終わり、3か月が経った11月に、北京師範大学で開催された「第3回中日教師教育学術研究集会」に参加する機会を得ました。今回は、私たちのささやかな研究実践を発表するための訪問でしたが、それよりも中国で活躍している教育研究者からの発表を聞いてみたいという思いもありました。

「北京師範大学」は、学生数が2万人を超える総合大学であり、政府が定めた重点大学です。中国ではもっとも歴史のある教育系大学なのですが、現在は様々な学部を擁する総合大学であり、日本でいえば、筑波大学のような感じです。ただ、「師範」という名前は、「教員養成」を意味していますが、これまでの長い歴史と知名度から、改称する考えはなかったそうです。

さて、ある中国の女性研究者から、中国でも課題となっている「教員の資質」についての報告がありました。これは中国の中学校教師を対象として、国内の12地点で調査したもので、それを様々な視点で分析していました。それによると、教員の資質は、当然ながら経験年数が上がれば上がるほど向上していくのですが、経験年数が15年あたりを超えた時点で、低下する教員グループと、さらに向上する教員グループに分かれたのです。これを詳細に分析すると、学歴や性別、地域性には関係なく、学校内でその教員が置かれていた環境や役割が大きく関連していたのです。特に、中学校3年生を多く担任した先生、あるいは主任などの管理的役割を多く担当した先生の方が、ベテランになっても資質低下をきたしていなかったのです。つまり、受験などといった子どもの進路に

責任をもって指導してきた経験や、広い視野にたつて、授業以外の役割をこなしてきた経験が、教員の資質を向上させていたわけです。まさに日本と同じです。この経験と広い視野という発想は、教職大学院にも通じるようにも感じられました。

中国では、2001年頃から中央政府主導で教育改革が行われ、生徒の主体的な学習の促進、理数系の重視、暗記から探究への転換を図っています。これも日本と同じ流れです。ただ、国も広く、地域によって違う教育を行っていたという経緯から、まだ教育改革は緒についたという感じですが、明らかに日本の教育の動きを注視しており、良いものはどんどん取り入れ、いけないものは見習わないようにしているように感じられました。政治制度が異なる中国ですが、日本の教育と同じ悩みや課題をもっていることに少々驚きを覚えつつ、お互いの研究交流の必要性を一層感じました。

収穫が多かった訪中でした。再会を誓い、北京の地を後にしました。

(基礎・臨床系教育部)



中日教師教育学術研究集会（集合写真）



日本留学フェア（台湾）に参加して

◆ 言語系コース（国語） 准教授 永田良太

2008年7月13日に台湾の台北市で開催された日本留学フェアに参加しました。日本留学フェアとは、日本への留学の促進を図ることを目的として、日本学生支援機構が世界各地で開催しているものです。本学もこれまで中国や韓国で開催された留学フェアに参加してきましたが、今回は初めて台湾での留学フェアに参加することになりました。

今回の留学フェアには50の国公私立大学と108の専門学校（日本語学校）が参加し、日本への留学を希望する台湾の学生達にそれぞれのブースで説明を行いました。台湾の学生達にとっては、日本語学校で日本語を学習してから大学・大学院に入学するというのが留学の一般的な形として認識されているらしく、最初の15分ほどはブースを訪れる人も無く、どうなることかと思いましたが、その後は夕方まで絶えず対応に追われていました。また、途中、本学大学院の修了生である黄涵梅さんがブースを訪れてくれました。黄さんも、途中からは私達そっちのけで、中国語で熱心に鳴門の良さを語ってくれていました。仕事を奪われた気にもなりましたが、嬉しい光景でした。主催者の発表によると、この日一日だけで4,640名という今年度各地で行われた留学フェアの中で最多の参加者があり、大盛況のうちに会を終えることができました。

以上が台湾で行われた日本留学フェアの概要です。今回のフェアに参加してみて、台湾人学生の

日本への留学に対する熱い思いが伝わってきました。今後、留学生の数は増加することが予想されますが、日本への留学に対する思いに応え、留学を実り多いものにするためにも、教育面・生活面での受け入れ体制作りが急務であることを改めて考えさせられました。また、留学生は「学生」であると同時に地域での「生活者」であることを考えると、このような体制作りは大学に限らず、社会全体として整えられていくべきものとも言えます。今回のフェアに参加してくれた学生達が日本（できれば鳴門）への留学を実現し、実り多き成果を挙げ、日本と台湾の友好関係を支える礎となってくれることを願ってやみません。

最後になりましたが、前出の黄涵梅さんには滞在中、色々とお世話していただきました。おかげで楽しく実り多い時間を過ごすことが出来ました。記してお礼申し上げます。

（人文・社会系教育部）



ブースでの説明の様子

国際交流



友好の木

◆ 学校教育研究科 ^{チャン}張 ^{シュエン}璇

皆さんご存じのように、去年の5月に中国で、四川省大地震が起きました。その時に、中国に入って初めて救援活動を行ったのは、日本の救援隊でした。彼らは豊富な地震救援経験を持ち、世界で最も進んだ生命探知機を持つ精鋭たちです。他国に先駆けて中国に着いた後、余震や感染症の恐れがある中、休む間もなく救援活動を始めました。

日本にいる私も、日本人の優しさを実感しました。地震が発生したあと、私たち中国人の留学生は鳴門教育大学で募金活動を行い、たくさんの方が募金してくれました。本当に感動し、皆さんへの感謝の気持ちで



いっぱいです。その体験を元に原稿を書いて、7月に徳島県国際交流協会が主催した外国人日本語弁論大会に参加しました。そこで最優秀賞を取

ったのは、絶対に自分の努力だけではありません。みんなから感動をもらって初めて、そのような発表ができたと思います。

私は今鳴門教育大学で、日本語教育を勉強しています。将来は国に帰って、中国の学生に日本語を教えるだけではなく、日本の文化、歴史、日本人の心を伝えていきたいと思います。その中で、日中友好に少しでも貢献できれば嬉しいと思います。

〈教科・領域教育専攻（言語系（国語））〉

楽しい旅 — 奈良，大阪へ見学旅行

◆ 学校教育研究科 ^{ジャン}姜 ^{ヤン}楊

12月12～13日に、鳴門教育大学の留学生達は奈良と大阪へ一泊二日の見学旅行に行った。国際交流チームの林先生と国語コースの小野先生も一緒に行ってもらった。勉強になり、非常に楽しい二日間だった。

初日は、お天気に恵まれ、まず大阪市環境局舞洲工場に到着した。世界各国から来た留学生達は、このゴミ焼却工場に大変驚いた。外から見ると、まるで童話の世界にあるお城みたいだ。こんなに綺麗な工場で、毎日環境に優しくゴミを処理していることに感心した。午後、素晴らしい歴史を持つ奈良についた。すごく美味しい和食を食べて、奈良公園と奈良国立博物館を参観した。奈良の可愛い鹿や、立派な大仏などの名物をテレビではなく、自分の目で見て、奈良の歴史



見学旅行（唐招提寺）

を深く感じた。

二日目、唐招提寺と国営飛鳥公園と石舞台を見学して、大阪天保山ハーバービレッジ・海遊館に向かった。巨大なジンベエザメや可愛いペンギンをはじめ、さまざまな海にいる動物を見ることができた。大変勉強になった。帰る前に、素晴らしいイルミネーションを楽しんで、鳴門に帰った。

二日間の見学旅行を通して、留学生達は勉強になると同時に、自分と違う文化を持つ人と交流して、お互いの理解を深めた。大変良い見学旅行だった。国際交流チームの先生方に心から感謝したいと思う。ありがとうございました。

〈教科・領域教育専攻（言語系（国語））〉



In dieser Ecke Deutschlands (ドイツのこの片隅で)

◆ 学校教育研究科 梅原麻衣子

4階の窓から見るいつもの景色，前の大きな木々と線路，その奥のスポーツ施設の競技場。私の大好きな景色である。リューネブルクでの生活も残すところ1か月と帰国が迫っている。時が経つのは早いもので，はじめてこの部屋に来た時は前の木々が紅葉していてとてもきれいだったことを覚えている。

私は9月から半年間，鳴門教育大学の協定校であるロイファーナ・リューネブルク大学に留学をしている。ドイツの冬は夜が長い。朝8時ぐらいにやっと明るくなり，4時過ぎには暗くなる。しかし，大学の授業は朝が早く，1限目は8時15分から始まる。起きた時は真っ暗で，昼の2，3時になると太陽は傾き，授業中に日が沈み，帰りもまた真っ暗。ドイツの冬は曇りの日が続くことが多い。これは冬のドイツの典型的な天気である。今年の冬は本当に寒かった。例年になく雪もたくさん降ったようだ。寒さは苦手であるが，しかし，ドイツらしい厳しい寒さとどんよりとした曇りの天気も案外悪くはない。

また，大学の時間割に昼食の時間が組み込まれておらず，授業の入っていない時間に昼食を取るという仕組みである。それぞれがあいている時間に昼休憩をとる。自由で，個人を尊重するドイツらしい発想である。こんなところも私は好きである。

私は9月から3週間の語学コースに通った。これは10月からの授業に備えての語学の勉強である。ドイツ語で聴く初めてのドイツ語の授業，本

当に緊張だった。もちろん授業中は先生もドイツ語でしか話さない。生徒もドイツ語以外の会話は禁止である。しかし，ドイツに来てドイツ語を思う存分学べる喜びで一杯であったように思う。外国語全般に言えることであるが，日本人は文法ができて会話も苦手だと言われている。まさに私もそうであった。9月の時はほとんどまともに会話をすることができなかった。このときは，半年後に本当に私のドイツ語は成長しているだろうかと常に不安がつきまとった。3か月が経ち4か月が経ち，今は会話も少しはまともになってきたように思う。頑張った分できた時の喜びも人一倍大きかった。短い期間であったがドイツのこの土地で学んだ事はとても多かった。これらの体験は，これからの私の生活をより一層豊かにしてくれることだろう。この留学の機会を与えて下さった大学の関係者の方々，私の勉強を支えて下さった先生方や同じ留学生の友人に本当に感謝している。

(人間教育専攻 (人間形成))



ドイツ語のクラスメートと先生



鳴門教育大学大学院を修了して

2008年3月に、鳴門教育大学大学院を修了した私は、故郷の鄭州に戻りました。帰ったばかりの時は、無事に修了できた喜びとともに、少し寂しい気持ちにもなっていました。

大学院在学中に、河南農業大学への就職が決まっていた私は、同年4月から教師としての生活が始まりました。ただし、中国では学期はじめが9月からということもあり、8月までは、他の先生の講義を拝聴したりしながら、教壇に立つ準備をしていました。また、仕事以外には、毎週2、3回卓球をし、数年ぶりに家族との旅行も楽しみました。故郷での家族との生活は、留学中一緒に過ごせなかった時間を取り戻すようで、とても楽しかったのですが、反面、日本での留学生活、特に山崎先生の研究室にいた生活を懐かしむ時間でもありました。

そして、9月に入ると私の生活は一変しました。毎週8クラス、350名の学生を対象に講義を行うことが主な仕事です。講義内容は、第二外国語として設定されている日本語と英語について、主に英語専門の学部生には日本語を、日本語専門の学部生には英語をそれぞれ教えています。毎晩講義の準備を行い、翌日には講義を行う、そのような生活が現在も続いています。学生と一緒に私自身も学習しているといってもいいかもしれません。

また、大学での仕事は、講義以外に研究も重要です。帰国後の6月から2ヶ月間、一つの研究プロジェクトに参加し、国内での発表も行いました。

◆ 学校教育研究科修了生 宋 曉 川

参加の際には、山崎先生の研究室で勉強した心理学や統計学などの研究知識を生かすことができました。これからも、先生の研究室で培った知識と真面目な研究態度を生かし、更に教育・研究活動に努力したいと思っています。

そして、今は鳴門教育大学で勉強した日々や、諸先生そして友人たちを懐かしく思っています。チャンスがあれば、再び日本へ行くことができれば嬉しいと思います。

最後に、山崎勝之先生、研究室のメンバー、鳴門教育大学の先生方、そして留学中に助けてくださったみなさまに心から感謝しています。“いろいろお世話になりました。本当にありがとうございました。”

〈平成20年3月修了 人間形成〉



国際交流



平成20年度 外国人留学生現員表

平成21年2月1日現在

国名	種別	修士			学部			教員研修			研究生			特別聴講学生			科目等履修生			計			
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
アジア	タイ		1	1			0			0			0		3	3			0	0	4	4	
			1	1			0			0			0			0			0	0	1	1	
	韓国		1	1			0		1	1			0		2	2			0	1	3	4	
			1	1			0		1	1			0			0			0	1	1	2	
アジア	中国		2	8	10			0		0		6	6	2	1	3			0	4	15	19	
					0			0		0			0			0			0	0	0	0	
アジア	ラオス		2		2			0		0		2	2			0			0	2	2	4	
					0			0		0			0			0			0	0	0	0	
アフリカ	ケニア		1		1			0		0			0		0				0	1	0	1	
					0			0		0			0			0			0	0	0	0	
北米	アメリカ合衆国				0			0		0			0		1	1			0	0	1	1	
					0			0		0			0			0			0	0	0	0	
中南米	メキシコ				0			2	2			0			0				0	0	2	2	
					0			2	2			0			0				0	0	2	2	
	ペルー				0			1	1			0			0				0	1	0	1	
					0			1	1			0			0				0	1	0	1	
中南米	ホンジュラス			1	1			0				0			0				0	0	1	1	
					0			0		0			0			0			0	0	0	0	
中南米	ジャマイカ			1	1			0				0			0				0	0	1	1	
					0			0		0			0			0			0	0	0	0	
計			6	11	17	0	0	0	1	3	4	0	8	8	2	7	9	0	0	0	9	29	38
			1	1	2	0	0	0	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	6

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）：鳴門教育大学配属

国名	種別	博士			研究生			計			
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	
アジア	インドネシア		1	1			0	1	0	1	
			1	1			0	1	0	1	
アジア	中国			0	1		1	1	0	1	
				0			0	0	0	0	
計			1	0	1	1	0	1	2	0	2
			1	0	1	0	0	0	1	0	1

備考：下段は、国費留学生で内数



歓迎！学生会

みなさんこんにちは。学生会です。もしこの学園だよりを見ている人の中で、学校行事の運営、小学生と一緒にキャンプでバーベキュー、学校理事の方々とお食事会、なんかよくわからんがタダ飯の食えるイベントに興味がある人は、学生会にきてください。歓迎させていただきます。新戦力的な意味で。歓迎パーティーのようなものは、いつでもどこでも何度でもやっちゃうので、気軽に来てゆっくりして行ってね！……とまあ、宣伝なんぞさせていただいたところで、本題であります。例えば、入学式後の部活動・サークル紹介だったり。例えば、小学校のサマーキャンプのお手伝いとか遊びに行くだけだったり。例えば、冬休み前にサンタのコスプレでマッチ売りの少女よろしくココアを配ったり。学生会というものはいろいろな学校行事の裏方をやっているわけですが、まあなんといいですか、もっと人手が欲しいなあ

◆ 学生会会長 阿部辰平

と。

一つひとつの仕事はそこまで大変でもないっちゃないのですが、それを現在の人数で回すととなるとムズカシイ。「人手が欲しいか。ならばくれてやる！」というぐらいの新人に入ってきて欲しいものです。毎週月曜日五限、クラブハウス一階にて活動中の学生会。来て見てみてね！

なんだか前置きも本題も宣伝になってしまいましたが、このあたりで失礼させていただきます。

ダメ押しをば少しばかり。自分的には小学校のキャンプお手伝いが激・オススメですよ。多少の体力こそ必要ですが、子どもたちの相手は楽しいですよ。キャンプのボランティアスタッフも募集していますので、キャンプだけでも来てみては？以上、学生会会長・阿部でした。

〈中学校・国語 2年〉

人とのつながりを感じる機会

～院生会での1年を振り返って～

◆ 院生会会長 本多謙一郎

これまでの大学院での約1年を振り返り、本当にたくさんの人にお世話になったなと改めて思っています。自分でも気づいていないところで支えられることもたくさんあったのだろうとも思っています。

特に、力量もないのに院生会会長を引き受けたため、院生会理事会の皆さんをはじめ、たくさんの皆さんに様々なことをお頼みすることとなりました。時には、丸投げするような形でお願いをしてしまうことも多々ありました。それでも、多くの皆さんがかかわってくれたこと、役員の方、係の皆さんがしっかりと企画・運営してくださったことで、ソフトバレーボール大会や国際交流親睦パーティー、ソフトボール大会といったイベントが、それぞれとても盛大にスムーズに実行されま

した。こうしたイベントは、人とのつながりを感じることができる本当に貴重な機会になったのではないかと考えています。この場をお借りし、今年度の院生会の活動にご協力してくださった全ての方々に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

〈人間教育専攻 現代教育課題総合コース1年〉



お知らせ

● 鳴門市クリーンセンター廃棄物対策課からのお願い

日頃より、本市における循環型社会形成推進行政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、引っ越し時におけるごみについては、分別して直接鳴門市クリーンセンターに持ち込んでいただくようお願いします。

なお、電気製品・自転車については収集していないので、必ず鳴門市クリーンセンターに持ち込んで処理してください。小型電気製品・自転車は

500円、大型電気製品は3,000円、それぞれ処理手数料が必要です。家電リサイクル法対象品目（エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機）は、法律に沿って適正に処理してください。

分からない点があれば、**鳴門市クリーンセンター廃棄物対策課（683-7573）**まで、お気軽にお問い合わせください。ご協力よろしく申し上げます。

大地震に備えて

（学生課）

皆さんは、大きな地震が発生したとき、どう行動しますか？

避難場所は知っていますか？

今回は、地震発生時の行動と大学構内にいた場合の避難場所についてお知らせします。

地震発生！ その時10のポイント

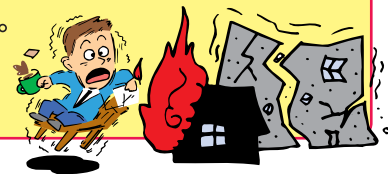
- ① グラツとしたら身の安全
- ② すばやい消火 火の始末
- ③ 窓や戸を開け 出口を確認
- ④ 落下物 慌てて外に飛び出さない
- ⑤ 室内のガラスの破片に気をつけよう
- ⑥ 確かめ合おう我が身の安全 隣の安否
- ⑦ 協力し合って救出・救護
- ⑧ 避難の前に安全確認 電気・ガス
- ⑨ 建物や門、塀には近寄らない
- ⑩ 正しい情報・確かな行動

◇慌てず、おちついて行動してください。

◇大学の避難場所…陸上競技場

※普段から、自分の住んでいる地域の避難場所を確認しておきましょう。

◇地域住民の避難収容所として体育館が指定されています。地域の方が避難して来られたら、案内等助け合って行動してください。



薬物乱用 ダメ。ゼツタイ!

（学生課）

薬物乱用とは、遊びや快感を求めめるために覚せい剤や麻薬等の薬物を使用することです。

覚せい剤、大麻、幻覚性きのこ、MDMA、有機溶剤（シンナー類）、コカイン、あへん系麻薬（ヘロイン等）、違法ドラッグなどがあり、いずれも依存性が高く、使用量も増えていきます。安易な気持ちで薬に手を出すようなことのないように願います。



盗難被害防止について

（学生課）

大学構内においても、盗難被害が報告されており、最近増加傾向にあります。

大学は、比較的誰でもが自由に入出入りでき行動できる場所です。駅の構内やスーパー、公園などと同じと考え、所持品の自己管理を徹底してください。



かんたんレシピ

バランスの良い食生活を送りましょう♪

メニュー

(一人分)

菜めし、鶏肉のオーロラ焼き、千切りキャベツ、ポテトサラダ、みそ汁

菜めし

材 料：ご飯…茶碗 1 杯，青菜…20g (1 束)，
鮭フレーク 10g (スプーン 1 杯)，ゴマ 1g

作り方：

1. 青菜はさっと塩ゆでし，1～2cmに切る。
2. ご飯，青菜，鮭，ゴマを混ぜ合わせる。

鶏肉の オーロラ焼き

(約270kcal)

材 料：鶏肉 80g，たまねぎ 50g (1/6～1/4 個程度)，ケチャップ 18g (大さじ 1)，
マヨネーズ 14g (大さじ 1)，しょうゆ 6g (小さじ 1)，塩・こしょう適量，
小麦粉 8g (大さじ 1)，(付け合わせ) 千切りキャベツ 適量

作り方：

1. 鶏肉に塩，こしょうをし，表面に小麦粉をつけて鶏肉を焼く。
2. 焦げ目がついたら，ケチャップ・マヨネーズ・しょうゆを混ぜ合わせたものを 1 に入れる。
3. 鶏肉を取り出し，余ったソースで玉ねぎを炒める。

ポテトサラダ

材 料：じゃがいも…60g (中 1 個)，にんじん…10g (お好みで)，
きゅうり…10g (お好みで)，マヨネーズ…20g (小さじ 4)，
レタス…15g (お好みで)

作り方：

1. じゃがいも，にんじんをそれぞれ柔らかくなるまでゆでる。
きゅうりは小口切りにして塩を振り，しんなりしたら水気を絞る。
2. じゃがいも・にんじん・きゅうりをマヨネーズで和える。
3. 味見をしながら塩・こしょうで味をととのえる。

みそ汁

材 料：豆腐 20g (お好みで)，わかめ (乾) 1g (お好みで)，
ねぎ 3g (あれば)，だし汁 150ml，みそ 9g (大さじ 1/2)

作り方：

1. わかめを水で戻し，豆腐は 1cm 角に切る。
2. 豆腐とだし汁を火にかけ，沸騰したら弱火にし，
わかめ，だし汁で溶いたみそを入れ，ねぎを加える。



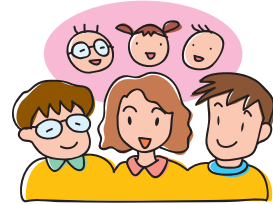
(メニュー&写真 学校教育研究科教科・領域教育専攻 生活・健康系コース(家庭)1年 石井淳子)

行事予定

学年暦

平成21年度前期

行事等 (特に記載のない場合は、学部・大学院共通)	備考
4月 1日(水) ~ 4月 12日(日) 春期休業	
4月 8日(水) 入学式	
4月 8日(水) ~ 4月 9日(木) 新入生オリエンテーション	
4月 9日(木) ~ 4月 10日(金) 新入生合宿研修 (学部)	4月 26日(日)「履修登録」締切 ※変更期間 4/27(月)~5/1(金)
4月 13日(月) 授業開始	
6月 16日(火)及び6月 17日(水) 附属校園観察実習(学部3年)(附幼・小・中)	
8月 3日(月) ~ 8月 7日(金) 前期試験期間 (学部)	
8月 1日(土) ~ 9月 13日(日) 夏期休業 (大学院)	
8月 8日(土) ~ 9月 30日(水) 夏期休業 (学部)	
8月 24日(月) ~ 8月 31日(月) 集中講義 (学部)	
9月 1日(火) ~ 9月 11日(金) 保育所実習Ⅰ(学部2年)(鳴門市内保育所等)	
9月 1日(火) ~ 9月 11日(金) 保育所実習Ⅱ(学部4年)(鳴門市内保育所等)	
9月 1日(火) ~ 9月 30日(水) 主免教育実習(学部3年)(附幼・小・中)	
9月 2日(水) ~ 9月 30日(水) 主免教育実習(長期履修生)(松茂町・北島町・藍住町内小中)	
9月 1日(火) ~ 9月 14日(月) 教員インターンシップ(学部4年)(附幼)	
9月 7日(月) ~ 9月 18日(金) 教員インターンシップ(学部4年)(鳴門市内小中学校)	
9月 4日(金) ふれあい実習(観察実習)(学内)(学部)	
9月 7日(月) ~ 9月 10日(木) ふれあい実習(交流実習)(附特別支援(1日))(学部)	
9月 14日(月) ふれあい実習(観察実習)(附幼・小・中)(学部)	※5月7日(水)は月曜の授業、 5月8日(木)は水曜の授業を実施する。
9月 15日(火) ふれあい実習(交流実習)(鳴門市内幼稚園)(学部)	
9月 14日(月) ~ 9月 30日(水) 集中講義(大学院)	※授業が休講の場合は、授業回数を確保 するため適宜補講を実施する。
9月 24日(木) ~ 9月 25日(金) 2年次生合宿研修(学部)	



◇平成21年度四国インカレ(徳島)・・・7月3日(金)~5日(日) ◇平成21年度大学祭・・・11月6日(金)~8日(日)

就職支援 行事予定

- 4月10日(金) 教員採用試験対策説明会
教採対策ガイダンス(実践編)(4月10日~6月25日までの間に実施)
- 4月中旬 教員採用試験説明会(横浜市・大阪府)
- 4月下旬 教員採用試験説明会(大阪市・神奈川県・京都府)
- 4月25日(土) 教員採用模擬試験
- 5月上旬 教員採用試験説明会(京都市)
- 5月中旬 教員採用試験説明会(徳島県・広島県・兵庫県・神戸市)
- 5月下旬 教員採用試験説明会(高知県・香川県)
- 5月30日(土) 教採実技ガイダンス(個人)
- 6月20日(土) 教採実技ガイダンス(集団)
- 6月上旬~ 教採実技ガイダンス(音楽)
- 7月2日(木)~ 教採対策ガイダンス(直前編)(7月2日~7月9日までの間に実施)
- 7月上旬 教採実技ガイダンス(体育)
- 7月上旬 教採実技ガイダンス(美術)
- 7月下旬 教採二次対策ガイダンス
- 8月中旬 教採二次対策ガイダンス



※詳細は就職支援室で確認すること。

学生会・院学生会主催の行事予定
 ★部活動紹介(学生会)・・・4月8日(水) ★国際交流親睦パーティー(院学生会)・・・7月
 ★ソフトバレーボール大会(学生会, 院学生会)・・・6月
 ★サマースクール in 北灘西小・・・8月

編集後記

学園だより第59号をお届けします。ご卒業、修了される皆さま、退職される先生方、おめでとうございます。
 昨秋以来、世界を襲っている百年に一度といわれる経済危機、私達は何年後に乗り切っているのだろうか。人間は困難にぶつかって、ようやく真剣に知恵を働かせるように思う。その時には他人と繋がり、他人に助けを求め、また誰かに手をさしのべて知恵を出し合いたい。本号においていかに多くの感謝の言葉が述べられていることか。ありがとうと言えること、ありがとうと言ってもらえること、そのどちらもが尊いと思う。お忙しい中原稿を寄せて下さいました先生方、学生の皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。(K. K)

編集：鳴門教育大学学生支援委員会 発行：鳴門教育大学教務部学生課

発行地：鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地

☎088 (687) 6118 <http://www.naruto-u.ac.jp/>

ALBUM

Naruto University of Education



裏表紙は、第25回鳴潮祭マスコットキャラクター「めでタイ」です。

